

# アオスジクモバチ

ハチ目クモバチ科

石川県カテゴリー 情報不足

*Paracyphononyx alienus* (Smith)

国カテゴリー なし

## 選定理由

海岸砂丘地に生息するが、その生息地は限定されている。

## 形態

体長は13mm内外である。体色は黒、体には灰青色の微毛からなる明瞭な線斑がある。

## 国内分布

本州、四国、九州。

## 県内分布

金沢市金石海岸、志賀町大島海岸。

## 生態

海浜に生息しているが、海浜近くの林縁部などでも活動しているようである。徘徊性のクモを狩る狩バチで、海浜性のイソコモリグモを攻撃するところが観察されているが、他にどのような種類のクモを狩るのかは不明である。

## 生息地の条件

本種のエサとなるクモやクモのエサとなる小昆虫類が生息できる海浜植物群落の多い砂丘地の存在が重要である。

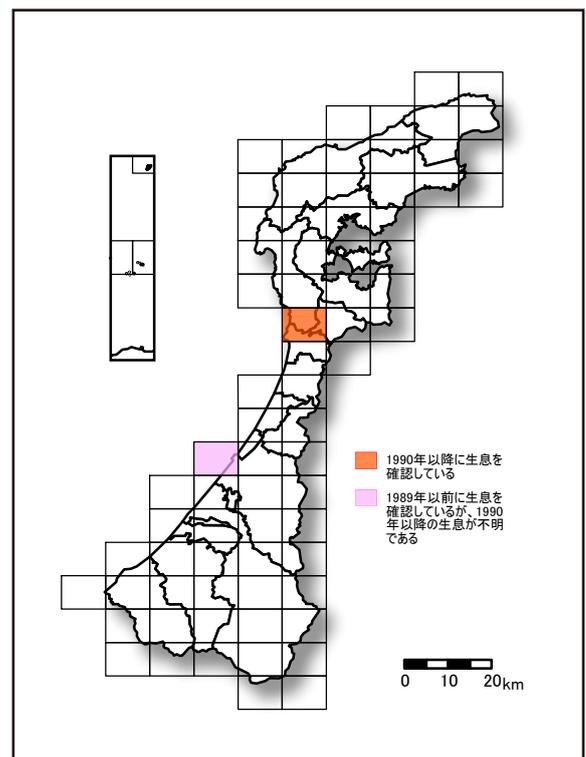
## 生存の危機

砂丘地が浸食により狭くなることに加え、護岸工事により、海浜植物群落が失われると生存できなくなる。護岸工事においては、海浜植物帯の保全を考慮した工法が必要である。

## 参考文献

富樫一次 1994. 石川県産ベッコウバチ類について 福井虫報, (15) : 73-76.  
平嶋義宏ほか 2008. 新訂 原色昆虫大図鑑 第三巻 : 570. 北隆館.

写真(図) ありません。



県内の分布